

# 東北新報

本報創刊於明治三十二年四月九日  
社址 仙台市青葉区本町二丁目  
印刷部 仙台市青葉区本町二丁目  
電話 二〇一五

### 社説

全民衆の前に叩きつけられた選挙は、その結果に於て野党の絶対多数となり、在野は絶望的の少数となつた。民政黨が、この期待以上の壓倒的多数になつたことを政策が民衆にびつたりと副した結果である。然るに、自負してゐるが、果して然るとせば民政黨内閣によつて現代が救はれるであらう。

河口君の明るい政治の前進の嚮導が、その聲明の如き明るさを有して居たか、どうかは、河口君の良心と、その一黨の自己自身が誰れよりも能く知つてゐる所であらう。

前衛的選挙の選挙が政府與黨に絶対多数を與へたりとするも、それが政府に對する絶大な信任の現はれと見べきであらうか、

民政黨の政策を可としてのみ結果であらうか、彈壓がなかつたか、巧妙なる干渉がなかつたか、

權力の暴用がなかつたか、その何れもが、なかつたと断言し得るの良心がありせば、民政の向上路が

更らに、新らしくされるであらう。

明るい政治の提唱者たる現内閣が、この選挙の戦術に於いて曝露した幾多の生々しい事實が、國民の直前に擴大され、さげだされるに到つた。

既成政黨から河口君をもつて國民にこびやうとしてゐる民政黨が、無産大衆を獲んがためのみの戦術であることを知らぬ愚衆が、むざむざ欺き去られた。

若し、心からなる議會中心主義者であるならば、何故に、政友會すら爲さかつかほどの彈壓を無産各派の團將運に加へたかその結果は、安部、河上、麻生、河野、加藤等の團將運が、新戰場に累々屍をさらしたてはないか、悲惨なる光景よ。

悲慘なる貴き屍よ。全無産大衆の小愚を利用して生かさんとせる民政黨の厚顔をわらふものであらう。

明るい政治といふ者の一皮をむけば、正体みたり枯尾花ではある。

然れども吾人は民政黨のそれよりも、全民衆の無智をあはれむ……。

その政治的訓練なきを悲

加藤、淺沼、麻生は愛國の闘志であつた。彼等は、笛を吹奏し、太鼓をたたいた。

されど全民衆は踊らなかつたのである。

全民衆の政治的盲目を利用して絶對多数を獲得して得意然たる民政黨の態度が、神聖なる價値が副ふものと見るべきであらうか……。

吾人は立憲政治の新しい興隆を望むと同時に現代に英雄出現を待望して止まざる者である。

### △第三區得票

比佐昌平	二〇、六二二
木村清治	一一、六二四
佐藤庄太郎	一一、一八六

### 分列騒ぎの同情を集めた

#### 比佐氏壓倒的の得票

##### 第三區石城郡開票結果

第三區石城郡における開票結果は、反し政友會の得票を減少せしめて、比佐昌平が、二二、二八六票を得た。これは、比佐昌平の得票が、石城郡において、佐藤庄太郎氏の出馬が原因にして、断然群を抜いてゐることに、大なる誘因となつた。野崎縣議一派の分列騒ぎも、見のがせぬ事實で、又佐藤候補は豫定通りたため、地方的にも可成りの重將は春秋兩度大祭を執行し

### 平町豫算町會

#### 二十六日に招集

前年度より一割緊縮  
新規事業はナニもなし

### 鐵道納入炭

#### 一割以上減する

重大問題として常磐  
地方各炭礦で對策協議

### 赤井嶽大護摩

#### 二十七日に修行

石城郡の禮壇赤井嶽山上に

### 比佐派の當選祝賀會

平町と湯本で開催

石城郡下を唯一の地盤として立候補した民政派比佐昌平氏は、豫想以上の素晴らしの勢で當選したので、同候補の運動員が發起となり、二十四日午後一時から湯本町公會堂に於て若男女を問はず、會費三十錢にて當選祝賀會を開催する事に決定した。

### 赤井嶽大護摩

二十七日に修行

### 比佐派の當選祝賀會

平町と湯本で開催

### 比佐派の當選祝賀會

平町と湯本で開催

の裏面史の一頁をオドクする事なかれ

(平チツク生)

筆洗ふ前に

永い間の政戦に立つてゐたので、朝はやく夜おそくいつも家庭からの親しみを捨て、あつたので、子供等は妙な目でみるやうになつて仕舞つた。

小さい子などは、夜いつまでも眠らないで、バ、お迎へと駄々をこねて女中をほと／＼困らせてたりした。

苦しい戦いの過去よ。

そこには忘れさせることの出來ない思ひ出が、ひそひそと悲壯なるさ、やきを交はしてゐる。

殆んど三十日に近い欠勤してゐる社へ顔を出したそこには留守中の仕事、只不整理の儘である。

内外ともに無茶苦茶である。これからの短い日數ではなか／＼整理も困難である。同志に勝つた夢も治たいし純正な理論が激しく頭脳を亂打する。いやや……生活戦線への準備をして立たなければならぬ……。

凡ての夢をすて……。

三句に亘る永い政戦の日まぐるしさも漸く結局をつけたが此の餘波を受け、た花柳街はさだめしきびれたものだらうと思つた。

これは如何に……。

毎晩しめやかな秋波を帯びた糸の流れが漂つてゐる。

聞くところによると某候補者の運動員は毎夜戦ひの多忙な時間をさいて新田町出張所を設けてドクンチャン騒ぎを演じてゐた。

たそがれがこんな偉い方でも翌日演壇に立てばやれ風景だのやれ緊縮だのと彌次られながらも一人前のガミ聲を張りあげて居るのだから面白い。願はくば君達よ清き政戦

平町と湯本で開催

平町と湯本で開催

- ### 出生
- ▲平新川町三二
  - ▲浦井四郎長男一郎
  - ▲平紺屋町五二
  - ▲青田日源一郎長男順一郎
  - ▲平三丁目五七
  - ▲加藤大三郎三女智子

# 口曜文苑

(童謡詩)

▲馬入川

原田小太郎

電氣機關車が  
通つた鐵橋

草刈背負つた子  
かけかけ渡つた

河口は房州行の  
二本マストが泊つて

濱風に白い旗が  
はた／＼鳴つてる

▲山を讚美する

大竹 秋平

山よ  
沈黙そのものやうな山

よ?  
汝はいつまで其處にさう

してゐる心算なのだ?  
人間ごもに踏みじられ

ても  
頭から雪をぶつかげられ

ても  
雪や風になぶられても

汝は何故少しも怒らない  
のだらう!

山よ  
莊嚴そのもの、やうな山

よ!  
汝は一体何を考へてゐる

のだ  
超然としてあらゆる苦し

みより脱れ  
あらゆる汚れより育れ

あらゆる惱みよりぬけ出  
で  
千年一日微笑んでゐる  
汝は幸福だ!

山よ  
神祕そのもの、やうな山

よ!  
汝の雄大なるそのスタイ

ルは  
何物もチャームせずには

おかないのだ  
人間共に汝のその

祕韻さにあこがれて  
汝の懐に死ぬことも厭は

なのだ  
山よ

何んといふ偉大なる  
汝であらう何といふ莊嚴

な  
山であらう!

そうして又何んといふ神  
秘なる

なんじであらう  
山よ

俺はなんじを敬服せず  
はおられない

而して高らかに讚美して  
止まない

## 上田外科醫院

平南町 電話 一二九番

病室完備 入院隨意

### 淋病と消渴に

と云ふ最新藥の服用を御進  
め致します

胃腸を害さず、かつめ  
事すでに服藥者の言により  
明かです

四日分 金壹圓 八日分 金壹圓八拾錢

### 水野藥局

平町一丁目

進歩せる此療法を一度試して下さい

### メリヤスシャツ

一枚……一圓八十錢

ワイシャツ

一枚……一圓八十錢

ネクタイ

一枚……一圓八十錢

学生服 作業服

帽子 靴下 足袋

ゴムム 靴

平町五丁目

### 職工募集

一、家具指物職人 五名

但シ相當經驗ヲ有シ永動出來得ル者詳細面談ス

平町三丁目

丸はん家具店

電話三五九番

丸はん家具製作所

電話七二三番

平町新田前

丸はん家具製作所

電話七二三番

## 見ヨ緊縮時代ノ 家庭ノ福音!!!

### 大倉煉炭大好評

平町專賣ノ「田」印大倉煉炭使用材料ハ世界一ノ  
稱アル朝鮮電工無煙炭ニ專賣特許ノ大倉貯溜  
炭ヲ配合シタルモノナリ他ノ煉炭ト炊キクラ  
ベ御使用下サイ火力強ク火持ちチノ長イコト在  
來品ノ比デアリマセン  
尙又化學ノ力デドク瓦斯ヲ除イテアリマスカ  
ラ器物ヲ損ズル恐レガアリマセン然モ大倉乾  
溜炭ハ私ノ店ノ特約デスカラ地方ノ工場デ此  
ノ種ノ品ヲ造ルコトハ絶對ニ出來マセン何卒  
多少ニ不拘御用命下サイ

平町材木町ノ角

### 大倉 平專賣製造部

高田木炭商店

### 氣管食道科 專門

耳鼻咽喉科

### 大和田醫院

電話一七〇番

入院隨意 (自炊の便あり)

### 祝一週年記念

昭和タクシー 營業以來茲に一ヶ年を向  
ふるに當り御禮致します  
今日に至る間一回の故障欠點大過無く過したる  
事は是れ皆様の御同情にある者なり深く感謝致  
します  
尙一週年を向ふると共に安全、迅速を主とし  
何卒此後四里以上御引立の程願上ます

昭和三三

昭和三三

昭和三三

昭和三三

昭和三三

昭和三三

りな命生の(丸)は捷敏實確  
屋問物金 鐵銅洋和  
店理代約特社會式株トシメセ城磐

# 店商久屋全

番九三九 電話 〇五平

しな略商 勝に賣廉品良

### ★動力使用最新

### 獨逸式製材機取付

製板製材  
並びに諸建築  
用材一式請負  
迅速! 叮嚀! 安價!  
平町仲町 増尾甚市郎  
電話四六九番

萬人の嗜好に適す

芳香豊なる洋酒

芳醇なる名酒末廣

ボタン自慢の洋食

出前高級食堂

ボタン

電話八五四番